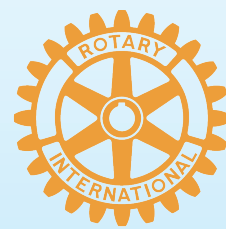


2023-24 年度 創立 58 周年

Rotary

東京城東ロータリークラブ



会長 秦 弘志

2024. 6. 24 第2616回例会 「魅力あるクラブで、共に学び、
楽しいロータリーライフを送ろう」

国際ロータリー 会長
ゴードン R. マッキナリー氏
第2580地区 ガバナー
栃木 一夫
(東京北RC)
ガバナー補佐(当クラブ担当)
岡村 利之
(東京東江戸川IRC)



創 立：1966 年 3 月 19 日
例会日：毎週月曜日 12:30 ～ 13:30
例会場：東武ホテルレバント東京
〒130-0013 墨田区錦糸 1-2-2 Tel:03-5611-5511
事務局：〒130-0013 墨田区錦糸 1-1-5 A ビル
Tel:03-5637-4605 Fax:03-5637-4611
E-mail: jyoto@club.email.ne.jp
会長：秦 弘志 副会長：今井 邦彦
幹事：小山 敦志 副幹事：大澤 悦子
会報委員長：山田 昇



2024/6/17(月)
「津軽三味線あべや」
金三郎銀三郎 兄弟

2024年6月17日 例会報告

点 鐘	
ロータリーソング	『我等の生業』
ゲストスピーカー	2名
ゲスト及びビジター	2名
会員出席状況	38名中26名(出席率68.42%) 【会場25名・オンライン1名】

本日の卓話

「一年を顧みて」

秦 弘志 会長
小山 敦志 幹事

ニコニコボックス

○あべや様、本日の卓話よろしくお願い致します。
今日は久しぶりに賑やかな津軽三味線を楽しみましょう。

秦 弘志君・小山敦志君・今井邦彦君
大澤悦子君・山田 昇君・齊藤榮一君
佐野一信君・田島敬三君・小野卓哉君

小計 ¥ 29,000.- 累計 ¥ 1,593,000.-

- 来月7月受付当番 -
竹越君/田中君/秦君

次回の例会

「引継式・新会長新幹事就任挨拶」

今井 邦彦 新会長
大澤 悦子 新幹事

会員皆様よりのご投稿を随時募集しています！

Tokyo-Jyoto RotaryClub 2023-2024

一年を顧みて

会長 秦 弘志

2023-24 年度会長をお受けして早一年が経とうとしています。本日が最終例会となり 6 月末でその任期が終了となります。

最初にお話しさせていただきますのは、2021 年 10 月会長指名の連絡を頂いた時の事から始めさせていただきます。実は、その時私は沖縄の首里城焼失の後の復興支援で首里城跡を訪れていた時でした。何の予告も無く一本の電話が入りましたが、普段ですとその様な時は電話には出ないのですが、当時城東 RC の会長でした宇都宮会員からでしたのでつい出てしまいました。会長に指名されましたのでお引き受け下さい！と告げられ、観光は一時中断し問答が始まりました。

当時再入会して 4 年目になったところでした。以前からお話しています通り第一回目の入会が 2008 年でしたが 4 年目で一度退会しています。2018 年に再入会して二度目の 4 年生を楽しんでいるところでした。クラブ活動で大切な五大奉仕委員や幹事も経験していない私にいきなり会長の指名でしたので本当に無理だと思い一生懸命抵抗し、何とか暫くの猶予をお願いはしましたが、旅行先と言う事をお話しして東京に戻ってからの返事とさせていただきますが、その後、当時篠田副会長も私の説得に参加されてからは、ロータリーの鉄則で返事は一つ YES！喜んで！に則っての攻勢に我が身を顧みず YES！とお受けした次第でした。

会長をお受けするからには相棒となる幹事を誰にお願いするのが意外と人望が薄く、押しの弱い私には大変な作業となりました。色々な方にお知恵を拝借し、本日最後のこの場まで一緒に二人三脚で来てくれました小山幹事とのペアリングとなり 2023-24 年度を目指し前途多難なコンビのスタートとなりました。

また、この会長ノミニーの時間は準備期間として何をすれば良いのかも全く分からず、何もせず半年余りが不安と共にただ過ぎていくのでした。この時に少しでもクラブ年間行事予定に興味を持つことが出来ていれば何時、何処で、何を、等準備するタイミングが分かり易くなったかもしれませんが、一切何もしていませんでした。

2022 年 7 月篠田会長年度がスタートされ、私

も副会長・クラブ奉仕委員長の役割を拝命し、例会時も前列のひな壇に上がることになりました。

この時から理事役員会にも出席する様になり、会の運営などに関する議題を議論する場として有意義な時間を共有し、また、学びの場としても良い機会を得ることが出来たと思いました。只いつも同じ人達が集まって『異議なし』だけで終わる事が無い大切な場でありました。

会の運営進行役として城東 RC の事を理解し、滑動していく上で必要となる知識を学ぶことが出来たと思えます。篠田会長が年間行事をこなされて行くことから学ばせて頂き、次年度の年間行事予定作成に役立たせて頂きました。12 月総会に向けた作業は一気に談合状態の中、期限までに処理していく事は結構プレッシャーを感じながらの連続でした。その後も、この様なドタバタ劇が繰り返される綱渡り状態が多く出てきました。時間の経過と共に期待感と緊張感そして不安感も日増しに膨らむ日々を送りながら、いよいよ被選理事役員会のスタートとなりました。

それまでに、年間行事予定表、各委員会構成、予算編成素案、を得意のバタバタで作成し、五大奉仕委員長を始めとする各委員長に就任のお願いをする塗り潰し作業を地道にフェイス・トゥ・フェイスで行いました。

また、3 月に入ると自身の研修会 PETS があり、そこでロータリークラブの会長になる人間に必要なであるロータリーの歴史から奉仕の持つ意味を学びロータリーが身近になった自分が感じられる様になって行きました。その他でも地区研修協議会等得意の一夜漬けでは間に合わないボリューム感で圧迫され始めたことを覚えています。

2023 年 7 月 3 日 緊張の中、初点鐘を行い今日まで 33 回の例会で点鐘をさせて頂きました。例会では、SAA・親睦活動委員会の方々に進行をして頂き誠にありがとうございました。慣れなかった 点鐘の響き具合 も段々と良くなった気がしています。

自身の年度を振り返ってみますと、何をするにも小山幹事とぶっつけ本番になってしまったかもしれません。出来るだけ早くから準備する事を意識しながらやっていたはいましたが、年間を通しての行事の中では、当たり前が結構当たり前では無いことが多々あり直前になってドタバタしてしまう

ケースがどうしても出てしまったかと思い、ぶっつけ本番的表現としました。

「魅力あるクラブで 共に学び 楽しいロータリーライフを送ろう」をテーマにしました。城東 RC の魅力を入会歴の浅い会員の方々にも早く城東 RC に慣れて頂き感じて頂くことから新たな創意工夫を経て別の魅力を作り出し、そこで学ぶことには大変意義深くロータリアンとしての人格も形成されていくものだと思います。そこまで行けば楽しいロータリーライフを共有しながら送ることが出来るのは当然だと思いませんか？

ただ、目指した事に対しての理屈に拘り過ぎて、実際の行動に移すことが出来なかった事が最大の反省であり、残念な思いで一杯です。皆で共に活動することで目指した事への達成感を得ることが喜びに繋がったのではと思いました。決められた時間では出来ることにも限りがあることも事実だとは思いました。それでも予定されていた行事に対して最初から最後まで一生懸命努めさせて頂きました。今思えば総会での進行も理事役員の皆さんに相談しながら教えて頂きながらではありましたが、次年度に向けての体制作りが無事に出来た時は肩の荷が一つ降りた感じがしました。

親睦家族会も楽しい時間を大勢の会員・家族の皆さんと共に過ごせた幸福感に満足する事が出来ました。58 周年記念夜間例会では、会場にブルー等、飾り物を施し、キラキラ感を出した中で、新日本フィル弦楽四重奏の楽曲を聞きながらロータリー時間を満喫しました。

変わったことをやろうとした訳でもなく、皆で楽しめる時間と空間を持ち合いたいと思う気持ちでやらせて頂きました。これらの行事は池永親睦活動委員長に無理をお願いして準備をして頂きました。ありがとうございました。また、今年度では五大奉仕委員長会と称し会長・幹事と五大奉仕委員長 5 名の 7 名で 8 月 7 日、2 月 7 日、6 月 24 日、の前半・中盤・後半と開催し、議題としては方針と計画の進捗と実績報告を主で行い、その後の懇親会では普段聞けない様な話が全ての人から問答形式でロータリーの知識とすることが出来たのではと思います。

城東 RC は誰の物でもありません。会員の皆さん全てで共有している学び、語らい、エンジョイ、する集いの場です。これからも絆を深めて行けま

すことをお願いさせて頂きたいと思います。

Service Above Self 超我の奉仕

One Profits Most Who Service Best

最も奉仕するもの 最も多く報いられる

この一年大変貴重な経験をさせて頂きました事に感謝を申し上げまして一年を顧みてとさせて頂きます。ありがとうございました。

一年を顧みて

幹事 小山 敦志

皆様、こんにちは。2023—2024 年度の幹事を務めさせて頂き、この度は退くことにあたりご挨拶を申し上げます。

この 1 年間、先輩ロータリアンの皆様をはじめ、理事役員の皆様、会員の皆様およびご家族様のご指導ご鞭撻、また、様々な作業においてアドバイスをいただきました秦会長、事務局の 天尾様のご協力に対し、心から御礼を申し上げます。会員の皆様から頂戴しましたご意見やご助言に対して、十分なお応えが出来なかったこと、準備不足等により、不手際やご迷惑をお掛け致しましたことが、度々ありましたことをこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

思い起こせば、私が東京城東ロータリークラブにお世話になる半年前に、日本で新型コロナウイルス感染者が確認され、7 月に入会する時期には、日本全国に感染者が拡大しておりました。通常開催されていたロータリー活動も、新型コロナウイルスの影響により安全性等が優先され、様々な会議や行事に制約、制限がかかり、延期もしくは中止を余儀なくされ始めた頃でした。私、個人的には、ロータリークラブ、ロータリアンを学ぶためには、厳しい状況での入会であったのかも知れません。

幹事を務めさせていただいた本年度は、入会 4 年目を迎えコロナ禍も落ち着き、観光目的でのインバウンドにより、国内および海外において人が活発に動き出し、ロータリー活動においても通常の行事等が出来るまでに回復してまいりました。前任の村上会員が、幹事の役割を立派に務めてお

り、私も先輩に続けと意気込んでみたものの、まだまだ、クラブ運営についての知識が乏しく、手続き、案内の対応等を、どのタイミングで行って良いのか分からない状況での就任でした。

ロータリー活動での大きな行事と言えば9月のガバナー補佐訪問、ガバナー公式訪問から始まり、11月の親睦家族会、クラブフォーラムにクラブ協議会、2月の第2580地区年次大会、3月の東分区5クラブ合同例会、創立58周年記念例会、4月の観藤例会、5月の親睦旅行、国際大会(シンガポール)、そして、月1回の理事役員会等、様々な行事があり、まだまだここに記載していない行事も数多くありましたが、何とか大きな失敗もせずここまで来れた事は、会員皆様の協力とご理解を無くして、出来得なかった事と感謝を申し上げます。

私事にはなりますが、6月20日付けにより異動を命ぜられました。今後、勤務先の地元ロータリークラブに入会するか熟考中ですが、残念ながら東京城東ロータリークラブについては、卒業させて頂きます。後任の松下君を、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

次年度は、東分区ゴルフ大会、インターシティミーティング、次々年度は、東京城東ロータリー創立60周年記念を控え、更なる伝統を歴史に刻むはずです。

2024年-25年度が東京城東ロータリークラブ、また、会員皆様にとって素晴らしい年度であることを心からご祈念申し上げまして、幹事退任の挨拶とさせて頂きます。

本当に1年間ありがとうございました。

東京城東ロータリークラブ ゴルフ部報告

日 時：2024年6月19日(水)

会 場：立野クラシック

